

法学委員会 「セーフティ・ネットのあり方を考える」分科会
(第24期・第3回) 議事要旨

開催日時 2018年7月24日(火) 14時00分～17時00分
開催場所 日本学術会議 5-A(1) 会議室
出席者 廣瀬真理子・亀本洋・糠塚康江・和田肇・石橋敏郎・稲正樹・岩永理恵・
小澤隆一・島田陽一・船橋恵子・丸谷浩介・山田八千子
欠席者 只野雅人

審議

1. 委員の紹介

- ・初出席の島田委員と各委員との自己紹介を簡単に行った。

2. 研究会の実施

- ・下記の報告を受けて、研究会を実施した。

- (1) 岩永委員「生活保護から考える『健康で文化的な最低限度の生活』の保障」
- (2) 廣瀬委員「就労・介護・社会保障―日蘭比較の視点から―」

3. 今後の活動方針

- ・9月14日開催予定の公開シンポジウム「ドイツのハルツ改革が労働法・社会保障法に与えた影響」について打ち合わせを行った。
- ・9月14日11時～12時30分に第4回の分科会を開催することとした。

以上

【配布資料】

- (1) 第2回議事要旨(確定済み)
- (2) 生活保護から考える「健康で文化的な最低限度の生活」の保障
- (3) 生活保護基準の見直しに伴い他制度に生じる影響について(対応方針)
- (4) 就労・介護・社会保障―日蘭比較の視点から―
- (5) 公開シンポジウム「ドイツのハルツ改革が労働法・社会保障法に与えた影響」の開催について

(記録：小澤)